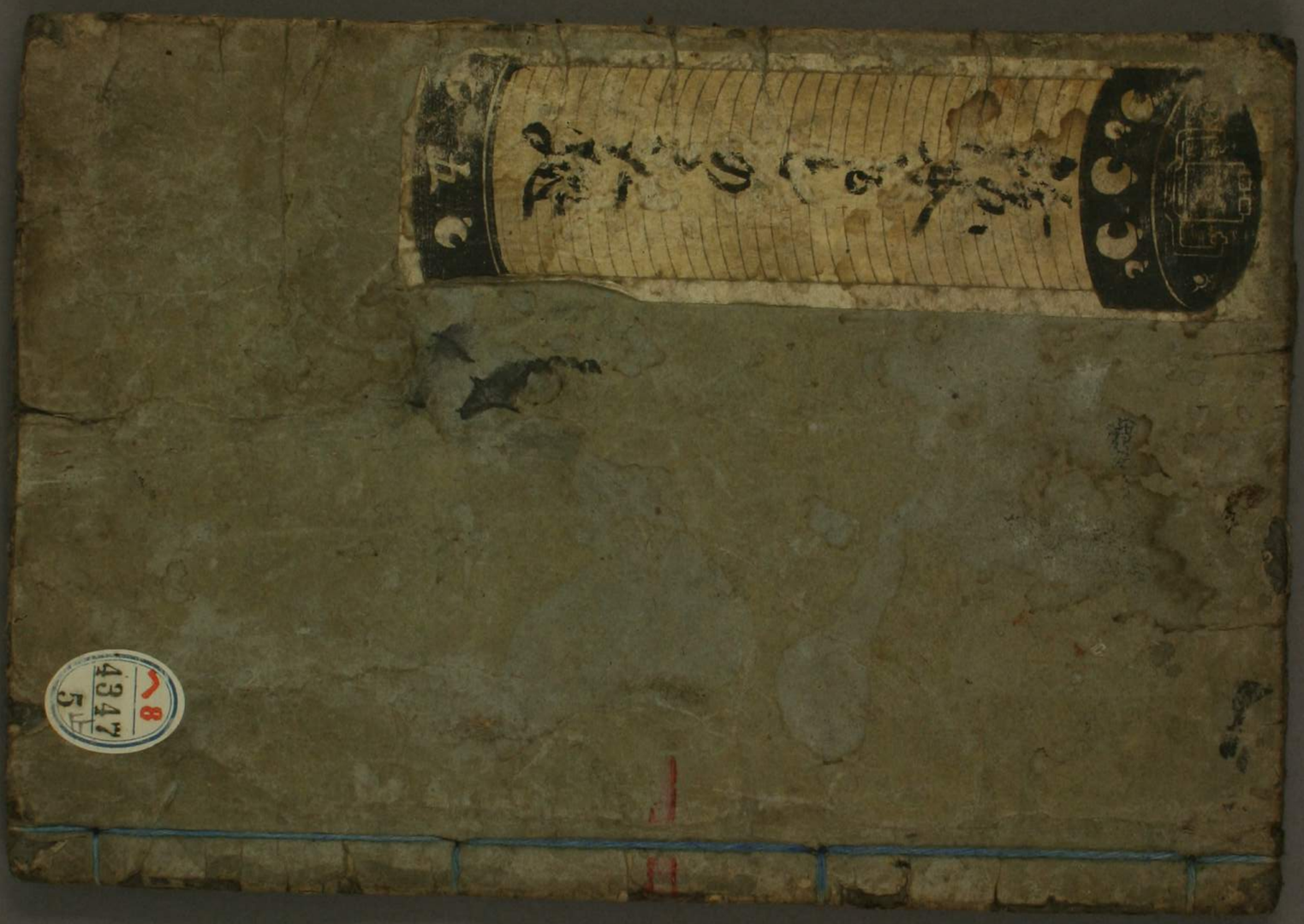
KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



8
4347
5

源川本義
本幸

ちゃのうアノはしゞ妹のおやじゃちゃのう
十一チエ〻〻スリヤアノはしゞ〇アノはしゞまつ美の
妹おハぎそあつとうかアトてうちうち十一ムスリヤ
うぐうやけんそも新地で出るとてゆうなこ
とうのう十一いうあと云く出あひまつこと女房の
はしゞ妹とふまつひもとゆわちゝそんうちゝ拍
よいハツイおやうとふ引つて・背くの中うて来人
行ホそうはきうとも去てつきまい一尿入りこゞう

帝国文庫

特
へ8
4347
5



よい。コレ〳〵松も高ふなるぞや　トまつをドリヤ一走
かそ。やしをつまそて高く　トひつくさると　ちやぢり
さゝをそまとうえもおびまをわち〳〵行のいれたをひ高ぐ
やか〳〵ヲイよんでまあるこの小ノ　ナちろいろく　イヤ
うう咲ふ出ちろ〳〵ろへ乃びまをわ妹のしい
とへから戻つくちろ〳〵ちくそんうう連ぐろく
戻りやろ〳〵そんうちろ〳〵とうこぐよこのふ行をふ
わゆる咲よ門ふわるるらぐ乃ゆへ心をよ妹



よさうとそかどこふわるぐこの世。家へ高ぐでう
まつてぐもりやせあろよ　ナ〳〵サアろよ　まつて〇ろて行
のろふまうふて居ます　ちん〳〵らしい
ナ〳〵ナるのうちそふ　ト少神ふつみ〳〵　ち〳〵妹よどこふ
わるぐこの世。けれの家のうけていろふ全体ニア　ろう四へ
と入ろんこの世のぐんるめぐや　トひくとしぐそとんて
のくらくらふまぐこ　咲　びうちわるきかこぐち
つさうふへく　トひくかんびこちろ
ヤアコリヤやしぐうびぐや　アコレ妹めぐそぐや　トハアト

してゝろうかろうゝろ〳〵
もぐゝたろのあぐぐろうなろうこと
コレナたろつ・づぐろやコ〳〵ひそとそとて
いたろてかろう・サアくくちろと切人と
了ぬ〳〵やいぐらしや・切と奴ハメ〳〵
の奴じや・さぐろて初てかるぞあろう・サア名ハうん
ろゝ行のを紐できろこぐろこと決で切ろこ
ナ〳〵〳〵行とろゝ奴じやいふてこと・サア〳〵くろ
してくまコレナたろトろくはろ五ろふ中たぐうナたろ
ハるとろこうくもんとてかるし



あぜのてろんすつくかふの所人所人
にまくのしぐ各ろんぐろうとあり
ろ〻ぐどのくちいたろうみトさくちイヤイトあろ
所人ろまく〳〵きけばあぐろたのしとろゝ女房ぐろまん
の焼じやぐるゑ・ゑべかふのあろれ所でそきいくく
むぐろしゝ新さまこそ所内ことをとらん
らくさろぐでろんす△「ぐろふかんじんのそへ切と奴ぐ
わそうふもろこかぐろへふくかりあひ所内の名元
のらくろやろうふ・山女房ろゝ釈ろちがあろげゑやあ

てのんびりふけあねと孔丸あねてそうてそうし
てのるそそでおて来まるそぐふけさあへい侍
じやゐぐれ上へ孔丸て欲とうてるくふしやま
「アくゑ丸の毎るまじやわるくはるあそうさんせと
ちくくまて　ちくスリヤきうさ奴い行とるア山様くく
ちくくく

とろ〳〵ひきやう若めがらつこ。モウナちつこぐこ
やハれまぬ。ヲ〻ヲ〻ちこ。ちまこも男ぐやちの
ま。ちまちまちをを。妹めの歌ぐち教さのでちくものち。
ちのを。ちめを。ちく〳〵ト〻〻〻

ゆてこべ紅人さうの中なる人の子女男をそ雑
さう多屋時宰相さう多人の縁ぐんおきんまり系
宰人大臣よりの人のうさ坊角の四達の乃利
とうけさまろう高京の中の高ゆ藤ゆとかまん人
まろうあるまろふふの新絶ふさそつきうもし
まろあるる本國の雑業うえ屋えるかの乃弱絶
ときうつもたまひはる中橋弁要人をやうの
と系まさつせうきあまうさへ風をうさき高和

うそ所く方ことさ侍ひさまひ、けうぞすれの新
地ふ事せうへれ系ゆ系ゆまう乃ゆ絶
とやうそのうろへ・要高の乃ま後人う末森者
ろとやうの・要高ようの乃角室をうけやうく
う。ゆうぞうとうへ所へ・屋えるる結網の
系うそ此方へ系ゆ系ゆる系降の書所ろうく系
宰ゆ殿後とうろうへうそつまゆ。
まつさうあうう雑の主をのうとうへ橋弁

要人ふ京墨四名、その要人こいろ名い先達て
ちゑ平のそ〇そふまろく、怪敷をでろ以信幼を
ず、幼年要人ご有ちあとさご、姫の名ひと情
させうきとと、のつひきけしぬ要ろ分ろの内軽を、
ちろろをしごふくいひかうせし、吉文とろる
りのい姫要人なろんと仏外年有ゆ思ひし
さ人きぐけうび、要人ちあぜんと姫名ふちごん
ろ紙とろつゆ人、けなの個達全の内、名あと出し

ひしと拙者ご勿うけと旨、ちゑの方ふあつち
しと、要人ご矢吉とさろんと、そんろもちく
ひしい矢おち、墨するを落つくさろん後や
吉文ろうんと、姫ご行居天満の幼ふへ吉文
ろきびごろんお遠の歌ろろ、ろろちゑ去
文い、宇人ふて要ろあうそん紙ごうびひ
とて、毎度きろる古節ちゑ名ふて、要
人ふお意あうまごと、ろと紙日ど幼ちちめ、

とぐりの古文ゞいてふ武士ろのゝあてまぎ
経会とのゝこゝうら石ろ立ゆう新よときけゞ
ゆゝ立たゞゞどゝしゞゞ。ゞゝゝひかゝせし。ゝゝゝ
ゝ其。要人ゝそ。郎人ゞ能そきく名ゝ石絵ゝし
ゞあゝ年ゝ。姫君の名ひゝ通まゞと。我ゞ意の
ゝ絵とゝ人色。ゝ役なゞゝもゝしゝと仏の若もゝく
ゝ法ゝゝくゝゝゞゝ対ゝ切新ゝしゝゝ吉天の我妹ゞ
ゝらさあゝくゝゞゝ対ゝ切新ゝしゝゝ吉天の我妹ゞ
あゝゝとゝ義ゝら新ゝぬゝ仏のひ月仏角の姫

いゝあゝくゝかくの通ゞゞゝ年ゝとゝゝゝスリヤ
なんゝとゝゝゞゝゝ。ゝゝれ妹ゝゝゝゝゝ。ゝ他人さゝの姫る
ゝゝむゞゝゝゝゝゝ切ゝゝ。ゝ他人さゝの姫る
ゝゝるゝゝゝゝゝゝ年ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

うんさうへく　ト又ことも物ぞの所てあ
ろ切さいはえきくまてさい味　ト大ぶ物ゴシくしろる　ヤ
写更微行事を知る手段の者ちゝぐの
年忘の連夜のこゝろひ　ト きろ呼び　とわれのまへで
思ひせん　十一　えをの竹束もちゝつあるへ拵る
十一　有為変の　あゝ　あの中ぐや　ナノト　ろ
あへいろくへんのさあてそうをいろいろいろ
いふくひとうらむけまくくと切ろへてろトもろう　刀ろ拵へ
世ぐうまた大ふそるり　林一　ひし　七所分ろ　ち貧なあや
そ奴をつまを女きろう

めこい紙紙十ろう　兄弟江戸　ふかへろうん　けぶ
ろるいけるの門　如一　ろ　十ろ　めへ大体の姿
ぐるへうふえへべ　林一　ふ来きる
くト　掛ぐうへとへ　大勢うるきろけふのうへ　仕五一
ソリヤトさぐふちぐひとそ門へへうん　ち一コリヤ
なあ四ふふ　ひうへへへ　ふ　ふ　ふ

うまとあるが宰相家の御せいそうまへ行まつ
とまいれ特山屋門なんとうまどもあるごろう
仆ヽサア　ち〻サアく　代ヽうんと　トこふせろぐや
呈を　ち〻ひあるぐぶつ　ヽエイ　トそば行　ち〻ヤア　姫君
を　トびっくりする　ヽかるびをもちのぐ　十ヽ縁出義ヽうを出まへ　接ぎ
くぬるの　ちんびをかくそを行くそまつのまつたゝザ　ひんとう
ちまとまちへ　トうこと　代ヽいまごろ面体ぶんあるねども
姫へなるびゐきそへときく　ひるふあるまもあるまへ

いそぎ宰相家へさしとんぢ来仕へ　トくぐがうへ　ち〻ヤイ　天テめおのまいくナア　そんる拵ぜう
行でなりもくさ　猪多のよい処や　姫君をあづけふ
うせもそまこと　おのまぐるまでそを行とふやう
ゐるゐあるゐめうの中へ　トそらくそまきむひとれ　ぼをへと
ぶぶぐうふ中ぶぐまるふあるるのう　ち〻ヤノね
ぐぐうふ中ぶぐ　ごあんさ義とナ　ぼ　十ヽつふあ義の侍
ち〻そまこと　今後ぐとアノそい　十ヽやぢり

十右ヱ門
加十郎

与三八
その人娘
六三ろ
林之丞

味うくがそ　ちゝ　業わざうるわざ〳〵やう・ぜん　右う勢
うんそんとわくるぬ　ぞ　ゝんか分のいざらうゝ・し
ゞ此業の場忠してちされい・あ当わうこ仲　とちろ
十ゝ　歌口士ゞ兄とろう　ちゝ　まこと焼くせこと分て
十ゝ　ゑゝて貞弟の名　ちゝ　生ものあ我十ゝ　号ひ思せべ
ちゝ　せろるい効じゃナア　トむたようざくゝてんてろ
ん　ゝ　コレく十ちろよ　京紙あ・ゞ結ゞ・る士と大勢かと
ちゝて・近分ゑくゝるとやこと思石ゝら引ゝ〳〵く

知せ　ふ　ま　さ　ち　ゝ　日氏の原切ゝ　ぶけ　い　十　ゝ　スリヤ
川に林ゑゝ　ち　く　き　ま　こ　大切ゑい　形　ゑい　紙　ゑ
ゝ　ゞ　ゞ　け　ヤ・　衰　石　ゝ　ゝ　ま　ゝ　く　ち　ゝ　ナ　ト　ゞ　ゝ　ん
じゃ　く　く　ん　ゝ　ま　こ　ゞ　分　て　わ　ゝ　ら　い　百　人　カ　じ　ゃ
ち　ゝ　ザア　形　ゑ　ち　ま　せ　トち・衣　ゑ　ま　ひ　と　つ　ま　て　拾　ゞ
ち　や　く　ゑ　ち　ゝ　サア　ま　る　結　ふ　形　ま　ま　て　こ・十　大　ち　ち
て　き　ま　う　ゞ　命　れ　あ　い　ゞ　ゞ　仲　ゑ　く　内　ま　ふ　わ　ゝ　い　十　あ　ち　ま　ま　く　く
十ゝ　た　の　こ　て　も　大　ゞ　い　ま　こ　て　あ　ゞ　い　こ　ゞ　る　か　ゞ　ひ　て

くるまへ　くるまへ　ト大ぜい一ぱいよりてかりうたえこゑ
よりて　ソリヤ　ト　あがりうへ　まことうぐ　大ぜいできくろう
くるまろうかそでんろうぐりてくるまろうかそでんろうぐりてくるまろうかそでんろうぐりてく

ゆう新作いろとのはさまづ屏風かくれ
十右ゑもん右仏刹ら新作八幡一出れえのおとりわ川久
口林ゑ書妙ゑ尾くまふ入りくん　ト十右ゑもん　スリヤ
市蔵ゑ　ゆ糸ゑ　ゑ　有かざ〜糸ゑ　ち〜国出屋
ま〜〜〜　山坊いろゑ〜〜〜

ち出〜〜幕

本幸

絵本競戸紅葉　古尾

深川本儀

# 蔵板小説目録

京三条通麩屋町角　山城屋佐兵衛

| | | | |
|---|---|---|---|
| 前太平記圖會 | 秋里籬嶋作 法橋中和画 | 六冊 | |
| 保元平治物語 | 秋里籬嶋作 法橋中和画 | 十冊 | |
| 金毘羅神璽記 | 春曉斎作 同画 | 十冊 | |
| 則定仁勇傳 | 岩瀬作 玉山画 | 八冊 | |
| 金鱗化粧櫻 | 中川昌房作 馬田画 | 六冊 | |
| 於陸寺助夢浮橋 | 桑谷斎作 栗枝亭駝鳥画 | 八冊 | |
| 三十三間堂棟木寺傳柳廼糸 | 小枝繁作 北馬画 | 五冊 | |
| 繪本孝感傳 | 春曉斎作 同画 | 十冊 | |
| 繪本義勇傳 | 春曉斎作 同画 | 六冊 | |
| 小野皇一代記八十嶋かげ | 菊輔作 春曉斎画 | 十冊 | |
| 茶店墨江紙 | 栗杖亭作 芦国画 | 九冊 | |
| 延寿少女王取艸紙 | 東漢作 馬田画 | 七冊 | |
| 繪本浪華男 | 西洲散人作 春曉斎画 | 五冊 | |
| 新編熊陔説話 | 鬼武作 馬田画 | 五冊 | |

孝子美談 津摩加佐稱 絳山作 豊国画 六冊

巨勢金岡 名枝傳 優々鼓作 琨和画 六冊

小説 峯吹雪 文丸作 琨和画 五冊

將門外傳 總援潛語 如泉作 英泉画 五冊

仝 二編 仝 五冊

仝 三編 白頭子作 岳亭画 五冊

河東方言 箱枕 有長作 春川芝七画 中本 三冊

花街風流鮮 東籬狂作 寛嶺画 中本 三冊

昔語茨之露 好花堂作 戴斗画 六冊

小野小町一代記 大撞氏作 堀田墨画 六冊

河内木綿團七縞 栗枝亭作 峯斉画 五冊

阿波濃鳴戸 柳亭種彦作 葛飾北斎画 五冊

假粧水千貫樽覓 歌国作 馬四画 六冊

貧福太平記 春の屋作 保之画 中本 三冊

儒者思理鮮 桃山人作 月画 三冊

繪本雙忠録 東籬亭作 柳川重信画 十冊

戯場ふなぐら 岳亭集人大神氏の紋の変跡と 月本生猛が亡霊 三吉物奇瑞 終ふ 岳亭の好曲 一時まいられ集人が出勤をもって洗く

錦椎三重椎子 奈美津作 馬四画 六冊

敦江伴 好画 滝の椎三と事敵 伏見京掠 毛氏と殺害 の好曲

嶋川太平大神物語 一溪主人作 北斗画 五冊

蛍貝氏兄弟 太川男と父の仇 嶋川の好曲

繪本孝男譚 東籬亭作 西村中和画 八冊

冊次宗徒家の士土岐氏の仁義 巫兄弟 銀若 父の仇 吳服の兄弟 支弦 漢魚大川京家の坂井氏の義男 下野吉平

謡曲春栄物語 鬼卯作 蕙椎画 五冊

春栄の孤忠と夏 宇治橋の父戦 柿の木 氏と殺害 の仇 牡丹 の者

復讐放下僧 節亭作 五冊

下野の国摸 直家の子息兄弟放下僧 父の仇 日根の仇後 嶋川 父の仇

改正

涼俗衣新地詭織　抱山人作　英笑画　五冊

薄雲奇傳鄭物語　柳亭亭作　墨僊画　五冊

三嶋女郎麓の花　鬼武作　馬四画　五冊

泉質鶴毛衣　作者　英京画　七冊

夏九雙三味線　蓮阿作　並画　四冊

落噺顕掛須　和孫史作　有泉斉画　五冊

文政七甲申年秋九月求版

浪華書林　河内屋茂兵衛

東武書林　大坂屋茂吉

尾陽書林　永樂屋東四郎

皇都書林　山城屋佐兵衛

[illegible]

[illegible]

[illegible]